



8月号 えんだより



令和7年7月18日

東広島市立御菌宇幼稚園

今年は梅雨の時期が大変短く、朝から熱中症指数が厳重警戒に達するくらい暑いため、水遊び以外は室内遊びをする日が続いています。そのため、こまめな水分補給に加え、汗を拭いたり、顔を洗ったりするように声をかけながら健康に過ごすための指導を行っています。これからが夏本番です。熱中症対策を行いながら夏ならではの体験を楽しみましょう。

1号認定の子供たちは7月20日（日）から、夏休みが始まります。保護者の皆様のご協力のもと、認定こども園として、前期前半を大きな怪我や病気等をすることなく、元気に過ごし、充実した園生活となりました。誠に、ありがとうございました。今後も、規則正しい生活を送りながら、夏ならではの経験や遊びを家庭と園で行っていきましょう。

夏の交通安全7月11日（金）～20日（日）

【運動の重点】は①歩行者の安全な通行確保②高齢者の交通事故防止③飲酒運転を始めとする危険運転の根絶④自転車等の安全利用促進です。

暑さのため集中力が低下したり、強い日差しのため視界がぼやけたりしがちです。大切な命を守るためにも、今一度、心を引き締めて交通ルールを守りながら、自動車や自転車の運転をしていきましょう。また、横断歩道を渡る時には、しっかりと手を上げることが、横断することへの意思表示となります。右左右の確認の後、親子で速やかに渡りましょう。横断歩道の近くで立ち話をしたり、子供が飛び出したりすることがないようにご協力をお願いいたします。



クラスの様子をお知らせします！～夏ならではの、楽しい遊びと体験がいっぱい！～

0・1・2歳児ひよこ組（16名の子供たち）

「リンゴリンゴ…」と歌を歌いながら、色水を混ぜ合わせてミックスジュースをつくったり、水の流れに魚を泳がせて魚釣りを楽しんだり、水遊びに少しずつ慣れてきて、いろいろな遊びを楽しんでいます。初めは裸足の感触を嫌がったり、顔に水が掛かると泣いてしまったりする子供もいましたが、今では上からシャワーの様に水を出すと、手や水遊びのコップでその水を受けて、体に跳ね返る水しぶきを「キャー！」と楽しむ様にもなってきました。水に親しむ事で暑い日も心地よく過ごせたり、しっかり体を動かした後で給食が、完食できたりする日が多くなっています。少しずつ暑さにも慣れ、水分や食事をしっかり摂り、夏バテしない体づくりをしていきたいですね。また水遊びの時間になると、自分でカバンを持ってくる子供たちもいます。自分のマークの椅子を用意して、そこにカバンを置き、自分の持ち物は自分で把握できるようにしています。まずトイレに行き、脱いだズボンとパンツを椅子に置きます。その後、Tシャツを脱げる子は自分で脱ごうと頑張っています。また、月齢に応じて、少し手を貸すだけで脱げる子もいます。自分でできた！という嬉しそうな表情で、脱いだ服を見せてくれます。そこで、今は「半分こ」と脱いだ服を畳む事もできるようになりました。全て手伝って準備をするのではなく、身の回りのことを自分でできる喜びもしっかり感じられるようにしていきたいです。ゆったりとした雰囲気の中で、様々な活動を楽しんだり、側で見守ってもらいながら身の回りの事にチャレンジしてみたり、様々な体験を重ねていっているひよこ組の子供たちです。

4歳児ひかり組（24名の子供たち）

暑い日が続いていますが、子供たちは、生き物の観察、ごっこ遊び、色水遊び、泡遊び、泥んこ遊びなど、自分のしたい遊びを見付け、毎日元気いっぱいに夏ならではの遊びを楽しんでいます。

泡遊びは、石鹸を削り、水に加え、泡立て器を使ってシャカシャカ混ぜてつくります。「見て！ソフトクリームみたいになった！」と形状の変化に気付いたり、「触ってみて！気持ちいいよ！」と感触を楽しんだりしています。また、「色水を混ぜてみよう！」と泡の色付けを楽しむ子供もいます。友達と一緒に試し、工夫しながら遊ぶ中で、色々な発見をしながら楽しんでいます。

色水遊びでは、「青と赤を混ぜたら紫になったよ！」など混色を楽しむ様子が見られました。色々な色を混ぜすぎて「変な色になってしまった…」と混ぜすぎるときれいな色にならないことにも気付いていました。

夏祭りに向けては、ひかり組は魚釣りコーナーをみんなで準備しています。看板づくりでは絵の具で色を塗ったり、自分たちでつくった魚を加えたりしたことで、夏祭りへの期待感が膨らんでいます。楽しい思い出がまた一つ増えるように、みんなで楽しみたいと思います。

3歳児さくら組（28名の子供たち）

水遊びでは、色水づくり、染め紙などの絵の具を使った遊びや、泡遊びなども楽しんでいます。色水づくりでは、赤・青・黄の3原色と白の色水を使って遊んでいます。混色を楽しみながら「メロンジュースができたよ！」「オレンジができた！」など、できた色からイメージを広げて楽しんでいます。大きな洗面器につくり、おたまでコップに入れて「どうぞ！」と教師や友達に振る舞う姿も見られています。染め紙では、紙の上で色が混じり合う様子を楽しみながら、「美味しそう！」「チョコバナナができた！」とアイスをイメージしながら取り組み姿も見られました。いろいろなコーナーの中から興味のある遊びを選び、そこに集まる友達と言葉でやり取りしながら楽しんでいます。水の感触に心地よさを感じ、自分からシャワーに向かっていったり、パラソルから落ちる水を頭から浴びたりと、全身ずぶ濡れになりながら、水の感触を楽しむ姿も見られています。

室内では、積み木・ブロック遊び、ままごと、粘土など続けて楽しんでいます。積み木やブロック遊びでは、友達と一緒にイメージを出し合いながら共有し、大きな城や動物の家などをつくったり、高く積み上げたりすることを楽しんでいます。「どっちが高くなるかな！」と高さを競ったり、支える役・積み上げる役・積み木を渡す役など分担し、協力し合ったりする姿も見られるようになりました。継続して取り組む中で、いろいろ試したり、工夫したりして、遊びを発展させている子供たちです。

5歳児そら組（26名の子供たち）

8日（火）からプール遊びが始まりました。ビニールプールですが、子供たちはとても楽しみにしていました。「いっぱい顔付けできるよ！」「ワニになって歩くから、先生、トンネルつくって！」と水の感触を全身で楽しんでいます。少し水が苦手でも、友達と一緒にするプールは、気持ちよさや冷たさを感じる夏の思い出になったと思います。

23日（水）に予定しているみそのう夏フェス（夏祭り）に向けてお店屋さんごっこが盛り上がっています。ラQで商品をつくったり、身近な素材を使って商品をつくったり等、子供たちなりに考えて商品づくりをしていました。「この魚は10円にしよう。」「くじは100円にしようかな。」と値段設定も自分で行いました。野菜やおもちゃを売るお店と、くじ引きができるお店ができ、「いらっしやいませ～！」と元気の良い声が聞こえてきて、お客さんもたくさん集まりました。現金ではなく、キャッシュレスで支払いを行う姿が、今時の買い物を物語っています。みそのう夏フェスでは、そら組はくじ屋さんを行う予定にしています。他クラスの友達に喜んでもらえるよう、子供たちなりに考えて楽しい時間になると良いなと思っています。



8月の行事予定



【Schedule of august】

日	月 (Monday)	火 (Tuesday)	水 (Wednesday)	木 (Thursday)	金 (Friday)	土
					1 1号認定登園日 【平和学習】 ※御園宇小学校・みそのうこばとの森こども園・みそのうにじいろ保育園の先生方が幼稚園の児たちの様子を見に来られます！	2
3	4 水遊び【Water play】 交通安全指導	5 1号認定登園日 【クッキング】 ※4歳児ひかり組と5歳児そら組はエプロンセット（エプロン・三角巾（給食帽子・マスク）が必要です。 ※幼児組は主食（ご飯）を持参してください。 水遊び【Water play】	6 水遊び【Water play】	7 子育てサロン【運動遊び】 5歳児そら組親子（希望者） ※詳細は後日お知らせします。 身体測定・保健指導（2・3号認定） 水遊び【Water play】	8 水遊び【Water play】	9
10	11 山の日	12	13	14	15	16
17	18 水遊び【Water play】	19 水遊び【Water play】	20 水遊び【Water play】	21 水遊び【Water play】	22 水遊び【Water play】 巡回図書	23
24	25 水遊び【Water play】	26 水遊び【Water play】	27 水遊び【Water play】	28 1号認定登園日 水遊び 身体測定・保健指導	29 1号認定登園日 誕生会・お楽しみ会 【Birthday party In July】 お楽しみ給食 【Fun school lunch】 ※3・4・5歳児主食（ご飯）も出ます。 【YOU don' t need to bring rice】	30
31	9／1 前期後半保育開始					

安全のあいことば：【いかのおすし】



7月4日（金），不審者が幼稚園に侵入したことを想定し，避難訓練を行いました。スクールガードリーダーさんより，不審者から身を守る安全の合言葉「いかのおすし」について教えていただきました。乳幼児の安全を守る一番の方法は「絶対に一人にさせないこと」です。商業施設等へ出かけた時には，トイレ・玩具・お菓子売り場等に一人で行かせない，一人にさせないように大人も気を付けましょう。また，挨拶をすることが命を守ることに繋がると言われていました。親子で挨拶をする習慣付けをしていきましょう。